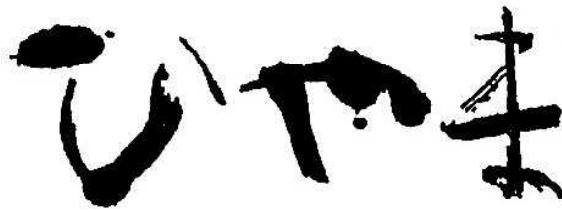


## 第8号

定価一年間300円  
組合員の購読料は  
組合費に含む



発行

## 檜山教職員組合

〒043-0056 江差町字陣屋町86-1  
TEL 0139(52)0858 FAX(52)1490  
発行責任者 白山尚  
E-mail: hiyamakyoso@proof.ocn.ne.jp

## 1年単位の変形労働時間制

## 教委へ意向調査

道教委



学校への変形労働時間制導入を伝えるTV報道=2019年9月

道教委は9月9日、「1年単位の変形労働時間制」導入を可能とする条例制定にあたって、その参考とするための意向調査を、道立学校と市町村教委あてに通知しました。しかし、現場の意見を必ずしも聞き取るようになっていません。国の方針に照らしても問題で、十分に声を反映せざることが緊要です。

道教委は9月9日、「1年単位の変形労働時間制」導入を可能とする条例制定にあたって、その参考とするための意向調査を、道立学校と市町村教委あてに通知しました。しかし、現場の意見を必ずしも聞き取るようになっていません。国の方針に照らしても問題で、十分に声を反映せざることが緊要です。

**現場の声**

## 2020檜山合同教育研究地域集会

管内的な集会に代えて、各町・方面で地域教育研究集会が4会場で開催されました。概要を紹介します。

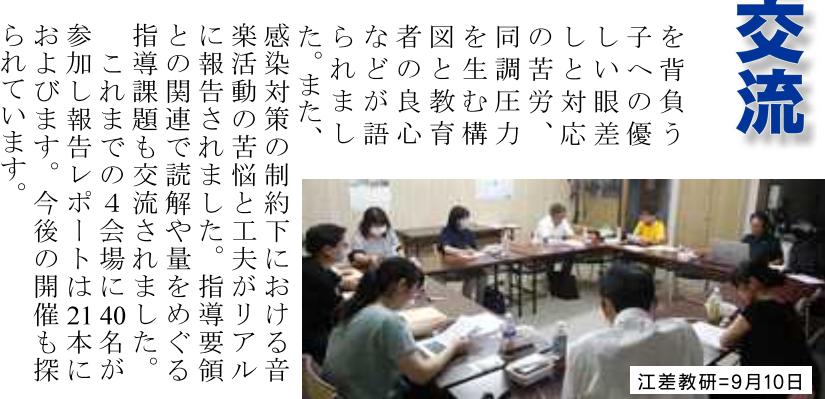


皮切りは9月4日の上ノ国集会。8名が参加し8本のレポートが報告されました。実物との対面指導や、五感の駆使と実感育む工夫、地域と感染症の教材化、個に応じた関わりなど、日頃の実践やとりくみが具体的に交換されました。翌9月5日のせたな・今金合同集会には10名の参加、4本のレポートが報告がありました。自然との触れあいを通じた「楽しさ」の追求、複式学級の指導の苦労と工夫、保護者との向き合いなどを、厚沢部・

## コロナ禍の現状と実践を交流



乙部合同集会。12名の参加者が、校行事や技能実習の意義の確実化、参加者の負担軽減、課題成績表の名江有りで抱き合いました。発本10冊のため、教育問題成ねえヨコ表の名江長いシミさられが差し、9月10日までもう切さ



江差教研=9月10日

意向調査は、現時点で1年単位の変形労働時間制の導入について各学校の考え方を問うものですが、「教育委員会の意向を確認したいので」としており、現場教員の意向を確かめるものとは見も伺いながらとの記述はあります。あくまで教育委員会の意向調査です。

萩生田文科大臣は国会で「学校のみんなが嫌だ」というものを条例ができたからといって動かすことはできない」と答弁しています。文科省作成の「手引」には、「条例等の整備」について、「①まず、各学校で検討の上、

「繁忙期」の勤務時間を延長するものです。道教組と高教組は9月14日、合との協議に誠意をもつて臨むことを強く申し入れました。

「繁忙期」の勤務時間を延長するものです。道教組と高教組は9月14日、合との協議に誠意をもつて臨むことを強く申し入れました。

**【変形】よりも「せんせいふやそう」**

## 緊急アンケートへ

現場の声がきちんと反映されるよう緊急アンケートを実施しております。職場には書面で届けられていますが、以下のQRコードからも回答できます。道教委との交渉や記者発表に生かしていきます。



〆切10月2日

ひ  
ま  
や  
実践3

兵農分離と検地・刀狩  
どのように教えるか

前号の続きです。「檜山での積み重ねが大きい」と語る石橋さんは、「主権者を育む実践視点を掘り下げてきた」と振り返ります。

三町研で公開した「太閤検地」と刀狩」の授業を紹介したい。本時の課題は、「太閤検地は何のためにおこなわれたのか」。

三町研で公開した「太閤検地」と刀狩」の授業を紹介したい。本時の課題は、「太閤検地は、百姓は土地の権利が認められ、年貢を納める義務を負うことになった」とことを確認する。そこで百姓にとつての「検地」と「刀狩」の意味と受け止めを考えさせた。多くの意見に帰着した。「限られた土地で自由にできないし、自分を守る武器を持たない」「耕作の権利が認められない」無理な年貢が押しつけられても

百姓の立場から考えているのは、正長の土一揆などそれまでの学习経験があつたからだと思う。ただ、近年の研究では、兵農分離について、政策的に直ちに定着したものではないとの論考もあり、歴史的な長いスパンを通した史実の教材化が求められるとも思う。

以上いくつかの実践を紹介したが、子どもたちに考えさせる授業には、現実の歴史や人間との対面は必須と思う。

歴教協の研究会が今金で開催された時、瀬棚線敷設や男爵いもに関わる歴史や人々を教材化する試みが行われた。その壮年学ばせられた。

また、乙部町明和中勤務の頃、アワビの養殖に挑む隣町の漁師さんの協力を得て授業を行ったこともある。その方は、潜

## これまでの実践を振り返って



### 石橋英敏さん報告要旨

れるし、武器を取られ一揆も起これない」など。

百姓の立場から考えているのは、正長の土一揆などそれまでの学习経験があつたからだと思う。ただ、近年の研究では、兵農分離について、政策的に直ちに定着したものではないとの論考もあり、歴史的な長いスパンを通した史実の教材化が求められるとも思う。

カッショーンするところも構想した。

文献や視聴覚資料も大事だが、実際に見て、人に会って話を聞くということを通して教材化はとても意味ある大事なことだと思うし、実際それは本当に定着したことだ。

在校生とデスク

招き、同じ地域に暮らす者どうとして

32年間檜山で曲がりなりにも教師をやってきたから。同時に、多くの仲間や先輩諸氏の支えが大きかったから。同時に、学校づくりや実践の積み重ねによるところが大きい。皆が幸せにならには、本当の意味で主権者を育むことだと思ふが、私自身も檜山で育まれてきたよう

に、その実践の蓄積や歴史や人々を教材化する試みが行われた。その壮年学ばせられた。

また、次のよう

地域との関わりの中で、地域との接点を重視した展開をすすめ、子ども自らが、地域を知り、地域との関わりの中で

育を困難にしている。

そうした現実にあつて、教育の役割は大きい。

総合学習に関わり、「教

師として知っていること

を知らないであろう生徒に教えるということでは

ない。子どもが学ぶこと

を援助したり、アドバ

イスしたり、学び方

を教え、と

もに学ぶこと

となる」と述べる識者がいる。

また、次のように

地域との関わりの中

で、地域との接点を重視

した展開をすすめ、

子ども自らが、

地域を知り、地域

との関わりの中で

育つていくという育ちの姿を、

子ども自らが実践する取り組み

の重要性が浮かび上がる。

子ども自らが、地域の中で子ども

の認識が育つ姿を自己共に確認

できるような学びがいある学習

活動が組織されたかどうか、と

いう点にある。地域の課題

を把握し、解決に向けて身につ

けた知識を総動員し、知恵を学

びながら、小さな主権者として

活動するにより、社会

認識を培っていく実践こそ必要

である。

今たしかに、目の前にいる生

徒たちはふるさとに残る者は多

くはない。でも、せめて疲れた

とき、やり直したいときに戻つ

てこられる地域であつてほしい

。自分はよそから来た者だが、

地域の土台を守る仕事は、

行政はもちろん地域住民に加

え、私たち教職員にも課せられ

ているのでは。子どもたちと共に

地域を深く知り、学び、そ

の

未来を考え続けていきたい。

解決は難しいが、子どもたち

と一緒に考え続ける姿勢は持

つけたい。

(終わり)

出合いが檜山で生かされ感謝

私は、檜山生まれで檜山育ち。学生時代の3年間を除けばずっと檜山。地元出身の子どもたちが、たまに帰つては元気な姿を見るみんなに見せてほしいし、離れて地元に愛着をもつていてほしと願う。石橋先生のような実践がなされたことで、そうした愛着も育まれると確信でき、檜山人として感謝したい。

解決は難しいが、子どもたちと一緒に考え続ける姿勢は持つけたい。

（終わり）

### 2020檜山合同教育研究オンライン集会

全体講演 鈴木 大裕 さん  
教育研究者・土佐町議会議員  
千葉市公立中学校で英語教師。  
事前申込必要  
お申し込みはこちらのフォームから  
お問合せ 011-231-0816  
<http://goken-hokkaido.jp/wp/>

QRコード

全道合研 2020 参加登録 QR